

『糖尿病療養指導ガイドブック 2023』（第1刷）

正誤表

本書に下記の誤りがございました。お詫びし謹んで訂正いたします。

p.45 表 3

【誤】

	特定健診			特定保健指導の対象者		特定保健指導の終了者	
	対象者数	受診者数	実施率	対象者数	対象者割合	終了者数	実施率
2020年度	54,183,746	28,939,947	53.4%	5,225,668	18.1%	1,186,047	22.7%

【正】

	特定健診			特定保健指導の対象者		特定保健指導の終了者	
	対象者数	受診者数	実施率	対象者数	対象者割合	終了者数	実施率
2020年度	54,183,746	28,939,947	53.4%	5,225,668	18.1%	1,200,740	23.0%

p.57 本文左段下から 12～15 行目

【誤】 一般的には、指示エネルギー量の 40～60%を炭水化物から摂取し、タンパク質は 20%まで、残りは脂質で摂取するのがバランスのよい比率とされている^{注3)}。

【正】 一般的には、指示エネルギー量の 40～60%を炭水化物から摂取し、タンパク質は 20%未満、残りは脂質で摂取するのがバランスのよい比率とされている^{注3)}。

p.86 表 19

【誤】

種類	一般名	主な販売名	初期量	維持用量	最高投与量
DPP-4阻害薬	1日1～2回				
	シタグリブチン	ジャヌビア錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg クラクティブ錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg	50mg を 1日1回経口投与		1日 100mg
	ビルダグリブチン	エクア錠 50mg	50mg を 1日2回朝夕に経口投与する。なお、患者の状態に応じて 50mg を 1日1回朝に投与することができる。		1日 100mg
	アログリブチン	ネシーナ錠 6.25mg/12.5mg/25mg	25mg を 1日1回経口投与		1日 25mg
	リナグリブチン	トラゼンタ錠 5mg	5mg を 1日1回経口投与		1日 5mg
	テネリグリブリン	テネリア錠 20mg/40mg	20mg を 1日1回経口投与		1日 40mg
	アナグリブチン	スイニー錠 100mg	1回 100mg を 1日2回朝夕に経口投与		1回 200mg (1日 400mg)
	サキサグリブチン	オングリザ錠 2.5mg/5mg	5mg を 1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて 2.5mg を 1日1回経口投与することができる。		1日 5mg
	週1回				
	トレラグリブチン	ザファテック錠 25mg/50mg/100mg	100mg を 1週間に1回経口投与		1週 100mg
オマリグリブチン	マリゼブ錠 12.5mg/25mg	25mg を 1週間に1回経口投与		1週 25mg	

【正】

種類	一般名	主な販売名	初期量	維持用量	最高投与量
DPP-4阻害薬	1日1～2回				
	シタグリブチン	ジャヌビア錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg グラクティブ錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg	50mgを1日1回経口投与		1日100mg
	ビルダグリブチン	エクア錠 50mg	50mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、患者の状態に応じて50mgを1日1回朝に投与することができる。		1日100mg
	アログリブチン	ネシーナ錠 6.25mg/12.5mg/25mg	25mgを1日1回経口投与		1日25mg
	リナグリブチン	トラゼンタ錠 5mg	5mgを1日1回経口投与		1日5mg
	テネリグリブチン	テネリノ錠 20mg/40mg	20mgを1日1回経口投与		1日40mg
	アナグリブチン	スイニー錠 100mg	1回100mgを1日2回朝夕に経口投与		1回200mg (1日400mg)
	サキサグリブチン	オングリザ錠 2.5mg/5mg	5mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて2.5mgを1日1回経口投与することができる。		1日5mg
	週1回				
	トレラグリブチン	ザファテック錠 25mg/50mg/100mg	100mgを1週間に1回経口投与		1週100mg
オマリグリブチン	マリゼブ錠 12.5mg/25mg	25mgを1週間に1回経口投与		1週25mg	

p.91 本文左段上から3行目

【誤】 インスリン療法の絶対的適応は表11（V章-3-A-11：75頁）を参照。

【正】 インスリン療法の絶対的適応は表10（V章-3-A-11：75頁）を参照。

p.175 本文右段上から10～12行目

【誤】 ②高齢者は、頭がくらくらする、体がふらふらするなどの中枢神経症状を中心とした典型的な低血糖症状を示すことが多い。

【正】 ②高齢者は、頭がくらくらする、体がふらふらするなどの中枢神経症状を中心とした非典型的な低血糖症状を示すことが多い。

p.209 本文右段上から6～8行目

【誤】 タンパク質摂取量は一般的な糖尿病の食事基準にしたがって20%以下とする。

【正】 タンパク質摂取量は一般的な糖尿病の食事基準にしたがって20%未満とする。

『糖尿病療養指導ガイドブック 2023』（第2刷）

正誤表

本書に下記の誤りがございました。お詫びし謹んで訂正いたします。

p.86 表 19

【誤】

種類	一般名	主な販売名	初期量	維持用量	最高投与量
DPP-4阻害薬	1日1～2回				
	シタグリブチン	ジャヌビア錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg グラクティブ錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg	50mgを1日1回経口投与		1日100mg
	ビルダグリブチン	エクア錠 50mg	50mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、患者の状態に応じて50mgを1日1回朝に投与することができる。		1日100mg
	アログリブチン	ネシーナ錠 6.25mg/12.5mg/25mg	25mgを1日1回経口投与		1日25mg
	リナグリブチン	トラゼンタ錠 5mg	5mgを1日1回経口投与		1日5mg
	テネリグリブチン	テネリア錠 20mg/40mg	20mgを1日1回経口投与		1日40mg
	アナグリブチン	スイニー錠 100mg	1回100mgを1日2回朝夕に経口投与		1回200mg (1日400mg)
	サキサグリブチン	オングリザ錠 2.5mg/5mg	5mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて2.5mgを1日1回経口投与することができる。		1日5mg
	週1回				
	トレラグリブチン	ザファテック錠 25mg/50mg/100mg	100mgを1週間に1回経口投与		1週100mg
オマリグリブチン	マリゼブ錠 12.5mg/25mg	25mgを1週間に1回経口投与		1週25mg	

【正】

種類	一般名	主な販売名	初期量	維持用量	最高投与量
DPP-4阻害薬	1日1～2回				
	シタグリブチン	ジャヌビア錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg グラクティブ錠 12.5mg/25mg/50mg/100mg	50mgを1日1回経口投与		1日100mg
	ビルダグリブチン	エクア錠 50mg	50mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、患者の状態に応じて50mgを1日1回朝に投与することができる。		1日100mg
	アログリブチン	ネシーナ錠 6.25mg/12.5mg/25mg	25mgを1日1回経口投与		1日25mg
	リナグリブチン	トラゼンタ錠 5mg	5mgを1日1回経口投与		1日5mg
	テネリグリブチン	テネリア錠 20mg/40mg	20mgを1日1回経口投与		1日40mg
	アナグリブチン	スイニー錠 100mg	1回100mgを1日2回朝夕に経口投与		1回200mg (1日400mg)
	サキサグリブチン	オングリザ錠 2.5mg/5mg	5mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて2.5mgを1日1回経口投与することができる。		1日5mg
	週1回				
	トレラグリブチン	ザファテック錠 25mg/50mg/100mg	100mgを1週間に1回経口投与		1週100mg
オマリグリブチン	マリゼブ錠 12.5mg/25mg	25mgを1週間に1回経口投与		1週25mg	